

定量のためのウェスタンブロッティング 蛍光ウェスタンブロッティングセミナー

川澄キャンパス、田辺通キャンパスにて開催

開催日：令和元年11月11日（月）

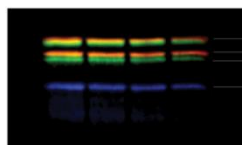
時間・会場：(1)13:00～14:00

薬学研究科：講義棟3階 講義室4

(2)15:30～16:30

医学研究科：脳神経科学研究所（旧分子研）

5階 会議室



Merged target proteins
#1 and #2
Target protein #1: Phospho-ERK1/2
Target protein #2: ERK1/2
Anti-GAPDH IFAB
Rhodamine Antibody

蛍光検出法を用いたリン酸化タンパク質同時検出例

ウェスタンブロッティングは、ライフサイエンス研究において汎用的に用いられておりますが、昨今ではデータの信頼性を担保するために抗体の特異性や、感度、そして定量性が求められるようになってきました。一方、検出では検出感度の高さから化学発光法を用いた方法が一般的ですが、定量直線性やダイナミックレンジ、複数ターゲットの検出が難しいなどの、正確なデータを得るための課題が残されています。

本セミナーでは、これらの課題に対するブレークスルーをもたらす蛍光ウェスタンブロッティングについてご紹介いただきます。蛍光イメージングに対応したイメージャーは、今後も予算要求にあげたいと考えていますので、ご参加よろしくお願ひします。

セミナー概要

- 現状の化学発光を含めたウェスタンブロッティングの定量性を上げるためのポイント
- 蛍光ウェスタンブロッティングのメリット
-より高い定量性・複数ターゲットの同一メンブレンでの解析等-
- 蛍光ウェスタンブロッティングに最適化されたバイオラッド社ChemiDocTouchMPシステムによる実験提案

参加申し込みは、
機器予約システム (<http://202.35.209.27>) の
「セミナー申込」にて、行って下さい。
(期限：11月7日（木）)



お問い合わせ
共用機器センター 担当：(共同研究教育センター)大島
E-mail：ohshima@med.nagoya-cu.ac.jp
TEL：052-853-8103

協力： **BIO-RAD**